

第57回 全日本聾教育研究大会
(奈良大会)
開催要項



全日本聾教育研究会

J.A.E.R.D

Japanese Association of
Educational Research for the Deaf

全日本聾教育研究会

近畿地区聾教育研究会

全日本聾教育研究大会(奈良大会)実行委員会

2023年10月19日(木)~20日(金)

第57回 全日本聾教育研究大会(奈良大会)開催要項

1 大会名称 第57回全日本聾教育研究大会(奈良大会)

2 大会主題 「ゆたかな知恵を育むろう教育」

【主題設定の理由】

グローバル化の進展や情報通信技術の急速な発展、人工知能の導入などにより、社会の変化は加速度を増し、将来を予測することがますます難しくなっている。聴覚障害児を取り巻く状況の変化も多岐にわたり、例外ではない。医学の進歩や補聴機器の性能向上はめざましく、超早期から聴覚補償や療育開始がなされるようになった。また、各自治体による手話言語条例の制定や、音声認識を用いた情報保障システムも広がりを見せている。

教育においても、学習指導要領では、このように変化する激しい時代を生き抜いていくために必要な資質・能力として、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱を掲げ、生きる力を育むことを明記している。生きる力を育むためには、確かな知識と、その知識を活用する力「知恵」が必要とされる。知恵とは「道理を判断し処理していく心の働き。また、筋道を立て計画し正しく処理していく能力」であり、今こそ子どもたちにこの力を培うことが不可欠である。多くの知識を習得できたとしても「知恵」へと発展されなければ物事に対処することは難しい。だからこそ、ことばや知識を自分の経験と絡めることで、使えることばや知恵へと深めていくという視点での学習を充実させていくことが求められる。さらに、知識と経験から得た知恵を、日常生活や社会で活かそうとする行動力・実行力・決断力を身に付けることも重要な要素となる。どのように自らが社会と関わっていくのかという、主体的な態度を伸ばしていくためには、仲間と協働する経験を積み重ねる中で、他人を尊重する心や思いやり、コミュニケーション能力、豊かな人間性を育てていく必要がある。「確かな知識」「豊かな人間性」を身に付け、「豊富な経験」を重ねることで、自分自身で思考した「ゆたかな知恵」を育むことは、現代社会を生きる力のみならず、ろう者としての自分の生き方やアイデンティティの形成にもつながるのではない。

本大会では、子どもたちの知識を「ゆたかな知恵」に変え、これからの時代を生き抜く子どもたちを育てるろう教育の在り方を追求したいという思いと、我々教員がろう教育を継承・発展させていく知恵を、参加者の皆様の知識と経験から学び合っていこうという思いを込め、本主題を設定した。

3 会期 2023年(令和5年)10月19日(木)~20日(金) 2日間

4 会場

〈公開・指定授業〉

○奈良県立ろう学校

〒639-1122 奈良県大和郡山市丹後庄町456 TEL(0743)56-2921 FAX(0743)56-8833

〈授業研究分科会・開会式・記念講演〉

○やまと郡山城ホール

〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町211-3 TEL(0743)54-8000 FAX(0743)54-8001

〈研究協議分科会〉

○奈良春日野国際フォーラム 薨 別館

〒630-8212 奈良県奈良市春日野町101 TEL(0742)27-2630 FAX(0742)27-2634

○ホテル リガーレ春日野

〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町757-2 TEL(0742)22-6021 FAX(0742)26-2200

※地図や交通アクセスについては、奈良大会ホームページをご確認ください。

※原則、公共交通機関をご利用ください。自家用車による来校・来場はできません。

5 主催 全日本聾教育研究会 近畿地区聾教育研究会

6 主管校 奈良県立ろう学校

7 協力校 滋賀県立聾話学校 京都府立聾学校・京都府立聾学校舞鶴分校
 大阪府立中央聴覚支援学校 大阪府立生野聴覚支援学校 大阪府立堺聴覚支援学校
 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 兵庫県立こばと聴覚特別支援学校
 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
 兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校 和歌山県立和歌山ろう学校

8 後援(予定) 文部科学省 奈良県教育委員会 大和郡山市教育委員会 全国聾学校長会 全国聾学校教頭会
 全国特別支援学校長会 近畿地区聾学校長会 近畿地区聾学校教頭会 奈良県特別支援学校長会
 全国ろう学校 PTA 連合会 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
 一般社団法人奈良県聴覚障害者協会

協賛(予定) 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会 小川再治研究協賛会
 公益財団法人日本教育公務員弘済会奈良支部

9 記念講演 (大会1日目)10月19日(木)15:40~17:00 やまと郡山城ホール 大ホール
 [講師] 武居 渡 氏 (金沢大学教授)
 [演題] 「多様性を大切にしよう教育を目指して」

— 武居 渡 氏 プロフィール —
 1994年、筑波大学 第二学群 人間学類を卒業され、同大学院心身障害学研究科を経て、1999年に金沢大学
 学部講師として着任されました。現在、金沢大学 人間社会研究域 学校教育系教授として、特別支援学校の教員養
 成に関わっておられます。また、日本手話学会や日本特殊教育学会、日本発達心理学会などに所属され、副会長や
 常任編集委員などを歴任されています。平成29年度版特別支援学校学習指導要領の編纂にも携われました。ご専
 門は聴覚障害教育で、日本手話の文法や、手話に関わる心理学的研究、ろう児の手話獲得プロセスや手話の発達、
 手話能力評価法の開発などに関するご研究に長年取り組まれ、ご活躍されておられます。

※講演動画は、大会終了後、全日本聾教育研究会ホームページの会員専用ページに掲載します。

10 大会日程

日	時間	内容	会場
10/18(水)	15:00~16:30	全日本聾教育研究会全理事協議会	ホテル日航奈良
1日目 10/19(木)	8:40~	受付	奈良県立ろう学校
	9:10~	公開授業・寄宿舍一般公開	
	10:15~	指定授業	
	11:15~13:00	[移動] [昼食・休憩]	やまと郡山城ホール
	13:00~14:30	授業研究分科会	
	15:00~15:30	開会式	
	15:40~17:00	記念講演 金沢大学 教授 武居 渡氏	
2日目 10/20(金)	9:00~	受付(各会場)	奈良春日野国際フォーラム 薨 別館 ホテル リガール春日野
	9:30~12:00	研究協議分科会	
	12:00~13:00	[昼食]	
	13:00~15:45	研究協議分科会	
	15:45~16:00	閉会行事 (各分科会ごとに実施) VTR 放映など	

II 設定分科会

(1) 授業研究分科会

【公開・指定授業】 会場:奈良県立ろう学校

公開授業(9:10~)	指定授業(10:15~)
早期教育部 — 動画での保育参観 幼稚部・小学部・中学部・高等部 — 全学年公開 寄宿舍 — 施設公開	幼稚部 5歳児 「話し合い活動」 小学部 5年 国語 「大造じいさんとガン」 中学部 3年 道徳 「言葉の向こうに」 高等部 2年 文学国語 「山月記」

※指定授業の動画公開について

大会終了後、奈良大会ホームページにて指定授業のみ事後配信します。出張報告などで活用していただければと思います。11月中旬頃配信できるように準備を進めますが、編集作業の状況により、配信時期は変更する可能性があります。

【授業研究分科会テーマ、助言者】 会場:やまと郡山城ホール

学部	研究テーマ	助言者
幼稚部	伝え合い、ともに考える力を育てるために ～自由遊び後の話し合い活動を通して～	信州大学 特任教授 庄司 和史 氏
小学部	児童が主体的に考える授業をめざして ～国語の授業を通して～	金沢大学 教授 武居 渡 氏
中学部	生徒の考えを深める授業づくり ～道徳の授業に焦点をあてて～	同志社大学 教授 中瀬 浩一 氏
高等部	対話を通して思考を深める授業づくり ～個と集団の学びの往還を目指して～	筑波技術大学 准教授 脇中 起余子 氏

※参観人数により、参加分科会の希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

(2) 研究協議分科会 会場:奈良春日野国際フォーラム 麓 別館 / ホテル リガーレ春日野

分科会	協議主題(分科会テーマ)		助言者 運営担当校
	主題設定の理由		
1 早期教育Ⅰ (乳幼児)	乳幼児期の親子の関わりを深めるための支援について考える コミュニケーションの土台となる親子の関わりを深めるため、乳幼児期の保護者への支援を丁寧に行っていく必要がある。不安を抱えた保護者に寄り添いながら、個々に合わせてどのように支援を行っていくのか具体的方策を研究し、今後につなげたい。		信州大学 特任教授 庄司 和史氏 兵庫県立 こばと聴覚特別支援学校
2 早期教育Ⅱ (幼稚部)	豊かな言語発達を促すために ～多様な子どもの実態をふまえて～ 幼児は遊びを中心とした様々な体験をする中でことばを獲得していく。近年では人工内耳の普及、重複障害児やデイサービス利用の増加など多様な実態がある。聴覚障害児の豊かな言語発達のために、幼児期の特性や個々の実態に合わせた指導について研究する。		愛知淑徳大学 教授 井脇 貴子氏 大阪府立中央聴覚支援学校
3 教科指導 (小学部)	学びを深める対話を引き出す授業の工夫 主体的で深い学びのある授業は、生き生きとしたことばと考えるのやり取りから生まれる。児童が進んで話し合い、考えを広げ、練り合わせる授業は「楽しい」「わかる」授業でもある。そんな授業づくりの工夫について学び合いたい。		大阪教育大学 教授 井坂 行男氏 兵庫県立 姫路聴覚特別支援学校
4 教科指導 (中高文系)	教科指導力のアップに向けて		京都光華女子大学 准教授 高井 小織氏

		準ずる教育課程における文系科目の教科内容を理解するために必要な言語力が足りず、学習活動に支障をきたしている生徒も少なくない。教員の指導力を今以上に高め、生徒の学習理解を進めるためには、どのような手立てが必要かを協議する場を設定したい。	兵庫県立 神戸聴覚特別支援学校
5	教科指導 (中高理系)	理系科目の苦手意識をなくすために 進級するにつれて、数学・理科の理系科目にどうしても苦手意識をもってしまっている生徒がいる。その苦手意識をなくし、授業内容の理解を深めるために授業で取り組まれていることを共有し、学び合いたい。	筑波技術大学 准教授 脇中 起余子氏 大阪府立 だいせん聴覚高等支援学校
6	寄宿舎教育	生きる力と豊かな心を育むための寄宿舎教育の在り方 寄宿舎教育では、集団生活を通して社会性や主体性、豊かなコミュニケーションの力を身に付けることが大切であると考える。このことから、卒業後を見据え自立した生活に必要な力と心を育む指導や支援について研究する。	筑波大学附属聴覚特別支援学校 寄宿舎主任指導員 木村 美津子氏 和歌山県立和歌山ろう学校
7	自立活動Ⅰ (障害認識など)	「障害」に関わる認識と行動を伸ばしていくための様々なアプローチ 幼児児童生徒が聴覚障害のある自分とその周りで生じている社会的障壁について理解し、様々な問題の解消において行動する力をどのように付けていくか。これらの力を形成していくために自立活動で可能となる取組について各校での実践を報告しながら、「障害」に関わる認識と行動をどのように伸ばしていくかといった様々なアプローチについて考えていく。	宮城教育大学 教授 松崎 丈氏 滋賀県立聾話学校
8	自立活動Ⅱ(聴覚活用・発音発語)	医療・補聴技術の進歩と幼児児童生徒の多様化に応じた聴覚学習・発音発語学習の在り方 人工内耳の普及や人工内耳装用児の増加、補聴器・補聴援助システムの技術進歩に対応するとともに、幼児児童生徒の障害の重度・重複化、多様化に伴って、個々のきこえやことばの獲得段階に応じた指導内容の設定や指導方法等がより大切となっている。それらを踏まえたより良い聴覚学習・発音発語学習の在り方について研究する。	愛知淑徳大学 非常勤講師 中井 弘征氏 京都府立聾学校
9	センター的機能	特別支援学校(聴覚障害)におけるセンター的機能の在り方について 特別支援学校(聴覚障害)に求められているセンター的役割を共有し、ろう学校が実施しているセンター的機能の実際と、地域の教育機関や関係機関との連携の在り方について研究する。	元和歌山県立和歌山ろう学校長 三反田 多香子氏 大阪府立生野聴覚支援学校
10	進路・キャリア教育	発達段階や個に応じた系統的なキャリア教育の推進について 幅広い学校生活の中で、発達段階や個に応じた進路・キャリアについて、子どもたち自身が社会での自立に向けて必要な基盤となる資質や能力をどのように身に付けていくのか、学校全体として系統的にキャリア教育の在り方について研究する。	社会福祉士 岩山 誠氏 大阪府立堺聴覚支援学校
11	重複障害教育	他者との関わりやコミュニケーションを通してよりゆたかな生活につながる授業を考える 障害を併せもつ子どもたちは、様々な方法で自分の思いを発信している。個々の思いを受け止め、安心感と信頼感を構築しつつ、生活で活かせる力を育みたい。現在および卒業後の生活をゆたかにするための日々の授業の在り方を考える。	宮城教育大学 教授 菅井 裕行氏 奈良県立ろう学校

12 開会式次第

- (1) 開会の辞
- (2) 挨拶 全日本聾教育研究会会長
奈良大会実行委員長(奈良県立ろう学校長)
- (3) 来賓挨拶 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官
奈良県教育委員会教育長
- (4) 来賓紹介
- (5) 閉会の辞
- (6) 諸連絡 大会事務局

13 閉会行事次第 各研究協議分科会会場にて実施

- (1) 開会の辞
- (2) 挨拶 全日本聾教育研究会会長
奈良大会実行委員長(奈良県立ろう学校長)
全日本聾教育研究会副会長(次年度主管校 東京都立大塚ろう学校長)
- (3) 閉会の辞

- 14 大会参加費 会員 1,000円 会員外 2,500円
学生 1,000円(参観・聴講のみでの参加)

15 大会参加・宿泊等の申し込みについて

申し込み内容	申し込み締切日	申し込み・送付先
大会参加申し込み 研究発表申し込み 昼食・シャトルバス申し込み	2023年6月23日(金)	奈良大会事務局(奈良県立ろう学校) ※専用の web フォームから申し込みをしてください。
研究発表の主題・抄録の登録	2023年6月23日(金)	1日目、2日目とも、近隣で飲食できる場所はほとんどありません。
研究発表原稿提出	2023年7月20日(木)	
宿泊先の申し込み	宿泊については、参加者自身で申し込みを行ってください。ご協力お願いいたします。	

※大会参加申し込みについて

- ・本申し込みは奈良大会ホームページの「参加者メニュー」をクリックし、所属する団体のIDとパスワードでログインしてください。その後開いた登録画面に、参加に必要なデータを入力してください。基本的には予備調査時と同様の手順での入力となります。予備調査時にすでにデータを入力されている場合は、必要な箇所を修正するだけで結構です。
- ・申し込み締切日の6月23日(金)までは、データの修正が可能です。
- ・所属団体のIDとパスワードが不明の場合は、大会事務局までメールでお知らせください。
- ・参加申し込みをした分科会以外の分科会への出入りはご遠慮ください。

※シャトルバス、昼食について

- ・1日目の奈良県立ろう学校からやまと郡山城ホールまでの移動時、シャトルバスを運行いたします。シャトルバスについては奈良大会ホームページに詳細を記載いたしますので、ご確認いただき申し込みをしてください。
- ・1日目、2日目とも、近隣で飲食できる場所はほとんどありません。各自でご持参いただくか、お弁当を注文していただくことをお勧めします。お弁当にはお茶はついていませんので、お飲み物は各自でご用意ください。

16 研究発表

研究協議分科会の研究発表の資格は会員であることとします。なお、地区研究会に所属していない大学教員等は、本部事務局に連絡し、会員の資格を得てください。発表件数が多い研究協議分科会においては、発表時間を十分に設定できない場合があります。予めご了承ください。

全日本聾教育研究会本部事務局 連絡先
〒272-8560 千葉県市川市国府台2-2-1 筑波大学附属聴覚特別支援学校内
TEL 047-371-4135(代) FAX 047-372-6908

※研究発表申し込みについて

- ・研究協議分科会で研究発表を希望される方は、奈良大会ホームページの「参加者メニュー」にて参加登録をする際に、「研究発表の有無」で「有」を選び、「参加者を登録」をクリックしてください。その後「参加者メニュー」の「所属団体の参加者一覧」に戻ります。ご自身のお名前の所の「研究協議分科会」に「研究発表情報」入力画面へ移行するボタンが表示されます。
- ・「研究発表情報」入力画面に、主題(100字以内、必須)、副題(100字以内)、抄録(350字以内、必須)を入力してください。
- ・研究発表原稿は、PDF形式のデータで提出してください。「原稿データ登録」画面よりファイルをアップロードして提出していただきます。その際、「ファイルの内容(100字以内)」を入力してください。原稿様式および作成例は、大会ホームページよりダウンロードできます。なお、原稿執筆要項に合わない原稿については、修正の上、再提出をお願いすることがあります。
- ・研究集録は、大会終了後、全日本聾教育研究会ホームページの会員専用ページに掲載します。

17 研究集録等

- ・大会要項、研究集録は、奈良大会ホームページの「参加者メニュー」内から、PDFデータで事前に無償配布します。公開授業、指定授業時の学習指導案等の資料は、大会当日受付時に印刷した資料を配付します。
- ・大会当日はデータ出力用のプリンターなどは準備しませんので、必要な資料は、各自印刷やダウンロードをしてお持ちください。
- ・希望者には、研究集録等のPDFデータの入った有償の記録媒体(USB)を大会当日受付時に配付します。参加申し込み時にWebフォーム上で申し込み、参加費と合わせてお支払いください。一つ2,000円です。
- ・研究集録・指導案・大会要項・記念講演動画は、大会終了後、全日本聾教育研究会ホームページの会員専用ページに掲載します。

18 諸費用の納入

(1) 納入方法

項目	大会参加費 研究集録等(USB)費 シャトルバス代金 お弁当代金
振込期間	令和5年9月22日(金)締め切り ※振込期間厳守でお願いします
振込先	金融機関名:南都銀行 支店名:筒井支店 口座種類:普通 口座番号:2164284 口座名義:奈良県立ろう学校 出口 千恵美 フリガナ:ナラケンリツロウガッコウ デグチ チエミ
振り込む際の注意事項	お振り込みの際には、 <u>お名前を入力に続けて必ず学校(機関)名も記載してください。</u> 記載例)奈良太郎(奈良県立ろう学校)
手数料	振込手数料は、振込者側のご負担でお願いいたします。
キャンセル時の返金について	9月29日までに予約を取り消された場合は、御指定の金融機関に払い戻しさせていただきます。その際は、振込手数料を差し引いた額のみ振り込みますのであらかじめ御了承ください。

(2) 領収書の発行について

- ・大会ホームページの「参加者メニュー」から発行いたします。
- ・その他の必要な書類や特別な書式等がある場合は、奈良大会事務局までメールでお知らせください。

19 情報保障について

- ・全体会(開会式、記念講演)では、手話通訳、音声認識の文字変換による字幕を準備いたします。授業研究分科会、研究協議分科会においては、支援を必要とする参加者がいる場合に情報保障を行いますので、情報保障を希望される場合は、参加申し込み時、必要な情報保障にチェックを入れてください。
- ・各会場に「情報保障席」を準備いたしますので、貼り紙のある椅子にお座りください。
- ・音声文字変換はUDトークを使用します。修正には努めますが、ある程度の誤変換も承知の上での活用となることをご了承ください。

20 自然災害時等における対応について

- (1) 気象警報が発令された場合も、原則として大会は実施します。ただし、公共交通機関に影響があり主管校の教職員が出勤できない場合は奈良大会を中止とし、その旨を大会ホームページに掲載します。
- (2) 気象警報の発令、感染症等により臨時休業になった場合は、幼児児童生徒は登校しません。そのため公開授業は中止となりますが、指定授業については、事前に撮影した授業ビデオをご覧ください。
- (3) 公開授業が中止となる場合は、その旨を奈良大会ホームページに掲載します。また、受付時間が変更になります。

	通常開催	公開授業が中止になる場合
受付時間	8:40 ~ 9:10	9:45~10:15
指定授業開始時間	10:15 ~	10:15~

21 感染症への対応について

感染予防対策として参加者の皆さまにご協力をお願いする事項が出てきましたら、大会通信第3号にてお知らせさせていただきます。

22 その他

- ・各自スリッパおよび下靴を入れる袋をご持参ください(1日目の公開授業・指定授業の参観時に使用)
- ・名札は、奈良大会ホームページの「参加者メニュー」内からPDFデータで出力し、当日ご持参ください。名札のバーコードにて受け付けをおこないます。受け付けを済ませられた後、各会場では必ず名札をお付けください。名札入れは各自で準備ください。
- ・幼児児童生徒の撮影は禁止とします。また、各発表時にスクリーンに投影される発表内容の撮影もご遠慮願います。

23 大会通信第3号について

9月上旬の配信を予定しています。「開催要項」「参加者数」「公開・指定授業一覧」「研究協議分科会発表一覧」「会場」等を掲載する予定です。

24 大会事務局及び連絡先

第57回 全日本聾教育研究大会(奈良大会)事務局
〒639-1122 奈良県大和郡山市丹後庄町456(奈良県立ろう学校)
TEL (0743) 56-2921 FAX (0743) 56-8833
E-mail zennichiro-nara@zennichiro-con.sakura.ne.jp
大会ホームページ https://www.zennichiro.jp/
大会実行委員長 出口 千恵美
大会事務局長 山本 明子